

AASPRO

アナログカーテレビ用ワンセグセット 取扱説明書

1SEG TRANSMITTER SET for ANALOG CAR TV

保証書

MOVT2

 (シガーライタープラグ接続方式)

MOVT2D

 (電源コード直付方式)

DC12V
アース車専用

ワンセグ放送を受信し、アナログ放送のVHFチャンネルに変換して送信するトランスミッターです。

地上デジタル放送に対応していないアナログカーテレビで、ワンセグ放送を見ることができます。

ワンセグ



- この「取扱説明書」をお読みになる前に、「取付説明書」と別紙の注意書（「アンテナ貼付けの手順」、「各コードの配線」）にしたがって本機を取付けてください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」の「安全上のご注意」(p.4~5)を必ずお読みになって、本機を安全にお使いください。
- 運転中の操作は絶対にしないでください。

／ お使いになる前に

安全上のご注意	4
使用上のご注意	6
特長	7
各部の名称(リモコン)	8
電池の入れ方	8
操作距離と範囲	8

／ はじめてお使いになるとき

ワンセグ放送を見るための手順	9
----------------------	---

初期設定

初期チャンネル設定の選択	10
地域設定で登録する	11
チャンネルスキャンで登録する	13
ホームチャンネル登録	14

／ 使い方の基本

ワンセグ放送のチャンネルを切替える, チャンネルリスト	15
音量を変える, 消音	16
画面の表示	17

／ その他の使い方

簡易番組表を見る	18
ホームチャンネルを呼出す, 番組説明を見る	19

／ 各種設定

設定画面	20
画面サイズを切換える, ズーム	21
自動スキャン	22
音声を切換える	23
字幕を切換える	24
出力チャンネルの設定	25
地域設定	26
チャンネルスキャン	29
ホームチャンネル登録	31
画質を調整する	32
設定リセット	33

お使いに
なる前に

はじめて
お使いに
なるとき

使い方
の基本

その他の
使い方

／ その他

アナログ放送の空きチャンネル一覧(参考)	34
ワンセグ放送チャンネル一覧	36
故障とお考えになる前に	40
ヒューズの取外し, 規格表	42
GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ	43
保証とアフターサービスについて	
保証書(最終ページ)について	50
保証について	50
アフターサービスについて	50
当社支店・営業所・技術相談	51
保証書	52

各種設定

その他

お使いになる前に 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「安全上のご注意」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。

その表示と意味は次のとおりです。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



● 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。



⊘ 記号は、禁止の行為を示しています。



警告

● 運転中に、操作や映像、表示の注視をしない

運転中の操作や映像、表示の注視は、交通事故の原因となります。安全な場所に停車して、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。



● リモコンを放置しない

リモコンが、アクセル・ブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

● 定格以外のヒューズは絶対に使用しない

定格を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

● 故障した状態のまま使用しない

煙が出る、異音・異臭がする、画像が映らない、音が出ないなどの異常がある場合、ただちに使用を中止して販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 内部に水や異物を入れない

水、金属物や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因となります。

● 水などをかけない

ショートして発熱し、火災・感電の原因となります。飲み物などがかからないようご注意ください。

 **注意**

- **重いものを載せたり、強い衝撃を与えたりしない**
本機の上に重いものを載せたり、強い衝撃を与えたりすると発熱し、火災の原因となることがあります。



- **取付状態や配線を定期的に点検する**
走行中に配線が外れて、ステアリング、シフトレバー、ブレーキ・アクセルペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となることがあります。



リモコンの電池について

- **電池は正しく使う**
電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。
 - 指定以外の電池は、使用しないでください。
 - 新しい電池、古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ダッシュボードの上などの直射日光の当たる場所、閉め切った車内やトランクの中など、温度が著しく高くなる場所に、電池や電池の入ったリモコンなどを放置しないでください。
 - 加熱したり、火の中に入れてたり、分解したり、充電したり、金属物と接触させたりしないでください。



- **電池は正しく使う**
 - リモコンの表示に合わせて、電池の極性(⊕と⊖)を間違えないように入れてください。
 - リモコンを長時間使用しないときは、電池を取出してください。
 - 使い切った電池は、すぐに交換してください。
 - 電池を交換するときは、同じ種類の新しい電池と交換してください。
 - 電池を保管するときは、テープなどで絶縁してください。



- **電池の液もれが発生した場合**
 - リモコンに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
 - 万一、目に入ったり、身体に付いたときは、こすらずにきれいな水で洗い流して、すぐに医師にご相談ください。
 - 液が衣服に付いたときは、きれいな水でよく洗い流してください。

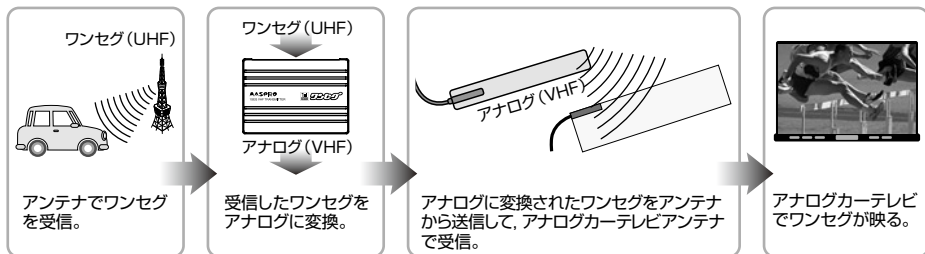
- **電池は正しく廃棄する**
交換した電池は、各自治体の条例にしたがって処理してください。

お使いになる前に 使用上のご注意

- アナログテレビ放送の送信塔の近くで、アナログ放送電波が非常に強い場所では、映像が映らなくなることがあります。
- お使いのアナログカーテレビによっては、性能を十分に発揮できないことがあります。
- 本機はワンセグ放送を受信、視聴するトランスミッターです。家庭で受信するフルセグ(12セグ)放送に比べ画質は劣ります。
- ワンセグ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、映像が静止したり、映らなくなったり、音がとぎれたり、出なくなったりすることがあります。
- エンジンを止めた状態で長時間使用すると車のバッテリーが消耗しますから、エンジンをかけてご使用ください。
- 車で受信するため、位置や方向および周囲の状況などにより受信できなくなることがあります。
- ビルなどの障害物や周囲の状況によっては、受信できないことがあります。
- 本機の使用周波数帯域と同じ周波数を使用した携帯電話や無線機などは、できるだけ離れた位置でご使用ください。本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけると、映像・音声などに不具合が生じることがあります。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンなどの車載機器および他の電子機器の作動によって、映像・音声などが乱れることがあります。
- 本機に搭載されているソフトウェアを逆コンパイルしたり、逆アセンブルしたりするなどのリバースエンジニアリングを禁止します。
- 本機の使用によって生じる付随的な損害に関しては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

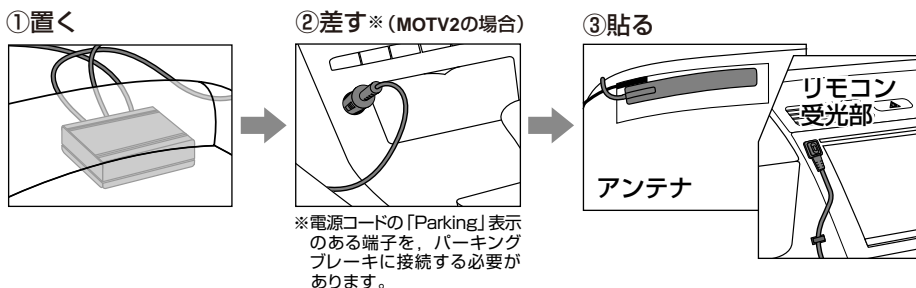
アナログカーテレビで受信

お使いのアナログカーテレビを利用して、ワンセグ放送を見ることができますから、買換えの必要がなく経済的です。



簡単設置

ワンセグ放送を受信して、アナログ (VHFのch.1~12) に変換して送信する方式ですから、複雑な配線やコンソールパネルなどの取外しは不要で取付けが簡単です。



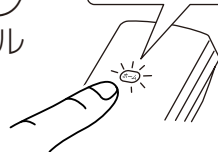
安定受信

ワンセグ放送受信ですから、広い地域で安定した受信が可能です。



ホームチャンネル登録機能

普段、本機をお使いになる地域のワンセグ放送を「ホームチャンネル」として登録できますから、旅行などで、お出かけ先のチャンネルに変更した後でも、簡単にチャンネルを戻すことができます。



お使いになる前に 各部の名称 (リモコン)

チャンネルリストボタン

受信チャンネルのリストを表示します。(p.15)

シフトボタン

押してから数字ボタンを押すと、出力チャンネルを設定できます。

設定ボタン

設定画面を表示します。

自動スキャンボタン

自動スキャン機能を切替えます。

決定ボタン

選んだ項目を決定します。

数字ボタン

- ワンセグ放送のチャンネルを選びます。
- 出力チャンネルを選びます。

ズームボタン

画面サイズを切替えます。

字幕ボタン

字幕がある放送の場合、字幕を表示したり、消したりします。

音声切替ボタン

複数の音声がある場合、音声を切替えます。

消音ボタン

音声を消します。(p.16)

ホームボタン

ホームチャンネルリストを表示します。

電源ボタン

本機の電源を「入」「切」します。

(本機は、車のエンジンをかける、または、ACCを「ON」にすると自動的に電源が入ります。)

番組表ボタン

簡易番組表を表示します。

番組説明ボタン

番組についての説明を表示します。

スキャンボタン

チャンネルスキャンを開始します。

▲▼◀▶ボタン

- メニューや番組表の項目を選択します。
- チャンネルをアップ・ダウンします。(p.15)
- 音量を変えます。(p.16)

戻るボタン

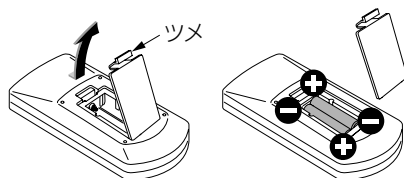
選択や設定の画面で、ひとつ前の画面に戻ります。

表示ボタン

チャンネル番号、放送局名、番組名、音量、画面サイズ、音声切替などの状態を表示します。

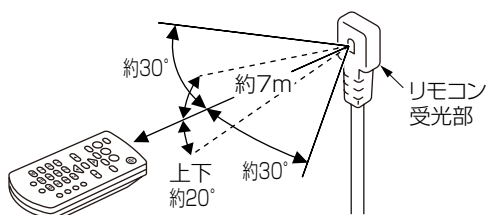
電池の入れ方

- ① リモコンのツメを手前に引きながら、フタを上持ち上げ、取外します。
- ② 付属の単4形乾電池を⊕、⊖の極性を間違えないように入れます。
- ③ フタを取付けます。



操作距離と範囲

- リモコンをリモコン受光部に向けて操作してください。
- 受信角度は左右約30°、上下約20°です。
- リモコンを使用できる範囲は、リモコン受光部正面で約7m以内です。



はじめてお使いになるとき ワンセグ放送を見るための手順

下記の手順にしたがって、ワンセグ放送を受信する準備を行なってください。

準備

アンテナの取付けが終了して、テスト画像が映っていることを確認する

取付
説明書
(別紙)

リモコンを準備する(電池を入れる)

p.8

初期設定

初期設定をする

p.10

「地域設定」*¹または「チャンネルスキャン」*²でチャンネルリストを登録する

p.11

ホームチャンネルを登録する

p.14

操作

●チャンネルを切替える

p.15

●音量を変える

p.16

*1. 普段お車をお使いになる地域のチャンネルをチャンネルリストとして登録します。

*2. 現在受信できるチャンネルをスキャンしてチャンネルリストとして登録します。

はじめてお使いになるとき 初期設定

本機の取付けが終了したら、初期設定画面から、本機にワンセグ放送のチャンネルリストを登録します。(地域設定またはチャンネルスキャンで登録できます)

初期チャンネル設定の選択

車のエンジンをかける、または、ACCを「ON」にすると本機の電源は自動的に(約5秒後)「ON」になります。

① テスト画面の表示

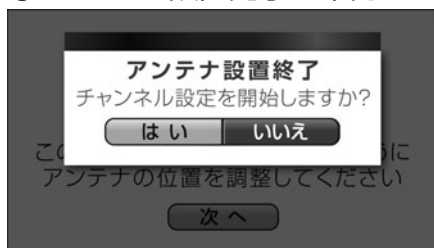


(決定) 押す

ご注意

- テスト画面が出ないときは、「取付説明書」の「10. アンテナを取付ける」の「チャンネルを合わせる」①～③をご確認ください。
- 初期設定が完了する前に、本機の電源を切ると「①テスト画面の表示」に戻ります。

② アンテナ設置完了の確認

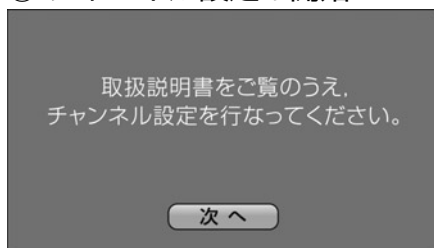


◀ ▶ で「はい」を選び

(決定) 押す

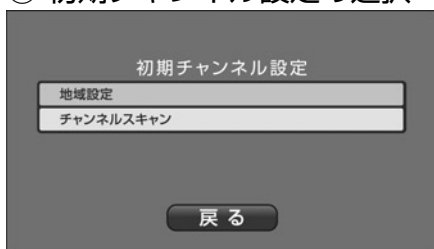


③ チャンネル設定の開始



(決定) 押す

④ 初期チャンネル設定の選択



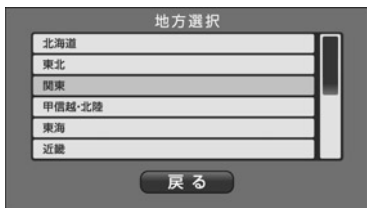
▲ ▼ で「地域設定」または「チャンネルスキャン」を選び

(決定) 押す

「地域設定」 → p.11へ
「チャンネルスキャン」 → p.13へ

地域設定で登録する

① 地方の選択



で普段お車
をお使いの
地方を選び

決定 押す

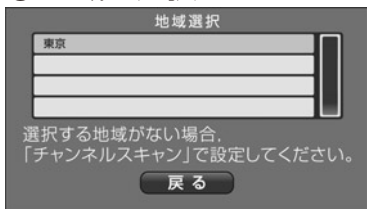
② 都道府県の選択



で普段お車
をお使いの
都道府県を
選び

決定 押す

③ 地域の選択



で普段お車
をお使いの
地域を選び

決定 押す

選択する地域がない場合、「戻る」を選び p.10「④初期チャンネル設定の選択」まで戻り「チャンネルスキャン」を選択してください。

④ チャンネルリスト



で「決定」
を選び

決定 押す

⑤ 地域設定登録の選択



で「する」
を選び

決定 押す → p.12へ

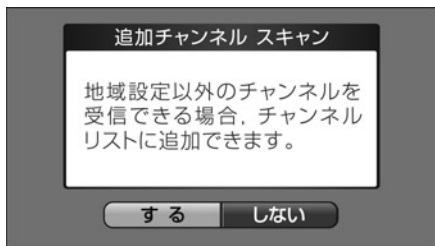
「しない」 → 「④チャンネルリスト」へ

(チャンネルリスト画面から順に「戻る」を選び p.10「④初期チャンネル設定の選択」まで戻ります。)



はじめてお使いになるとき 初期設定つづき

⑥ 追加チャンネルスキャンの選択



- 地域設定以外のチャンネルを受信できる場合、チャンネルリストに追加できます。
- 追加チャンネルスキャンをするときは

ご注意

受信環境によっては、チャンネルを追加できないことがあります。

◀ ▶ で「する」を選び

決定 押す

⑦ チャンネルスキャンの開始



- チャンネルスキャンには、しばらく時間がかかります。

- チャンネルスキャンが終了すると、チャンネルリストにスキャンした追加チャンネルが表示されます。



⑧ チャンネルリスト



チャンネルを確認し

◀ ▶ で「決定」を選び

決定 押す

↓
p.14「ホームチャンネル登録」へ

追加チャンネルが受信できたときは、緑色で表示します。

追加チャンネルが受信できないとき



決定 押す
「⑧チャンネルリスト」に戻ります

チャンネルスキャンで登録する

① チャンネルスキャンの開始



- チャンネルスキャンには、しばらく時間がかかります。

② チャンネルリスト



◀ ▶ で「決定」を選び

決定 押す
チャンネルリストが登録されます。



p.14「ホームチャンネル登録」へ



ワンセグ放送チャンネルが受信できないとき



決定 押す
p.10「④初期チャンネル設定の選択」の画面に戻ります

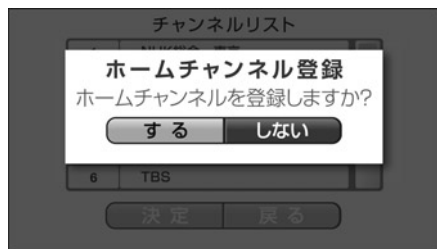
- ワンセグ放送が受信できる場所で、再度、チャンネルスキャンを行なってください。

はじめてお使いになるとき 初期設定つづき

- 「地域設定」または「チャンネルスキャン」で登録したチャンネルリストを普段お使いになるチャンネルとして「ホームチャンネル」に登録できます。
- ホームチャンネルに登録しておくことで、旅行先などでチャンネルリストが変更された後でも、簡単にチャンネルリストに戻すことができます。(p.19「ホームチャンネルを呼出す」参照)

ホームチャンネル登録

① ホームチャンネル登録の選択



◀ ▶ で「する」を選び

決定) 押す

- 「しない」を選んだとき、チャンネルリストのみ登録し、リストの中でいちばん数字の小さいチャンネルを選局します。



② ホームチャンネル登録画面



- チャンネルリストがホームチャンネルとして登録されます。
- ホームチャンネル登録のメッセージが約2秒間表示され、リストの中でいちばん数字の小さいチャンネルを選局します。

初期設定の完了です

ご注意

- 初期設定が完了する前に、本機の電源を切ると、次に電源を入れたとき、p.10「①テスト画面の表示」に戻ります。
- 初期設定完了後は、「設定画面」(p.20)からチャンネル設定の変更をします。

ワンセグ放送のチャンネルを切替える，チャンネルリスト

視聴するワンセグ放送のチャンネルを選局します。
下記の操作を行なって，画面で確認してください。

数字ボタンで選局する

①～⑫ でチャンネルを選ぶ



▲▼ボタンで選局する



チャンネルリストで選局する



チャンネルリスト ボタンを押す

▲▼ ボタンでチャンネルを選び

決定 ボタンを押す

または

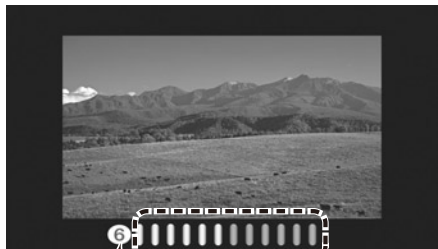
①～⑫ ボタンを押す



ワンセグ放送のチャンネルを切替える，チャンネルリスト

使い方の基本 音量を変える, 消音

音量を変える



音量(0~12)

音量バー

◀ または ▶ 押す

現在の音量を表示します。

音量+



押す
音量が大きくなります。

音量-



押す
音量が小さくなります。

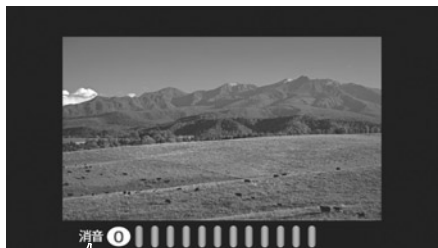


ご注意

本機で音量を大きくしても音が大きくな
らないときは、カーテレビの音量も調整
してください。

「音量」および「音量バー」は、音量操作後約2秒間
表示されます。

消音



消音表示

消音



押す
音声が消えます

再び音声を出す場合、

消音



または
◀ ▶ 押す



使い方の基本 画面の表示

チャンネル番号、放送局名、番組名、音量、画面サイズ、音声切換などの状態を表示します。

表示

○ 押す

約10秒間表示されます。

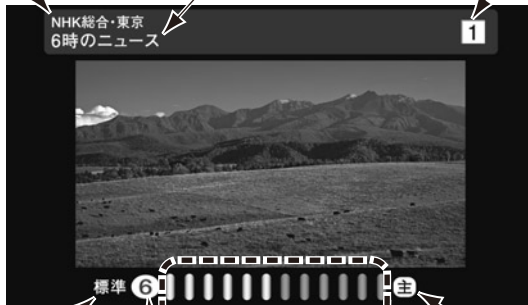
表示を消すときは、再度 ^{表示} ○ 押す。



放送局名

番組名

チャンネル番号



画面サイズ/消音

- 標準：標準サイズ
- ワイド：ワイドサイズ
- 消音：消音時

音量

音量を数字で表示します。(0~12)

音量バー

音量をバーの数で表示します。

音声切換状態

- 主：主音声
- 副：副音声
- 主副：主音声 + 副音声

その他の使い方 簡易番組表を見る

- すべてのチャンネルで、現在放送されている番組を確認できます。
- 現在視聴しているチャンネルで、その後に放送される番組を確認できます。

すべてのチャンネルの番組表を見る

チャンネル一覧



▶ 押す 現在視聴しているチャンネルの「放送時間順」の番組表になります。

番組表 押す

「チャンネル一覧」の番組表になります。

①～⑫で選局できます。

ご注意

- 情報を取得するため、すべてのチャンネルの番組名を表示するまで、しばらく時間がかかります。
- 番組名が、表より長くなるときは、順に左へ文字が移動して表示されます。

現在視聴しているチャンネルの番組表を見る

放送時間順



◀ 押す 「チャンネル一覧」の番組表になります。

番組表 押す

「チャンネル一覧」を表示させ

▶ 押す 「放送時間順」の番組表になります。



ご注意

放送時間順の簡易番組表からは、選局できません。

視聴画面に戻るとき

番組表 押す

または

決定 押す

ホームチャンネルを呼出す，番組説明を見る

ホームチャンネルを呼出す

登録してあるホームチャンネルリストを表示します。



(ホーム) 押す

ホームチャンネルリストが表示されます。

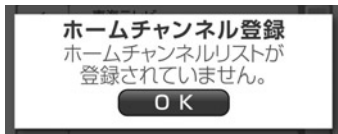
◀ ▶ で
「決定」
を選び

(決定) 押す

リストの中でいちばん数字の小さいチャンネルを選局します。



ホームチャンネルが登録されていないとき



(決定) 押す

視聴していた画面に戻ります。

番組説明を見る

番組についての説明を表示します。



番組を視聴しているときに

(番組説明) 押す

- 約5秒間番組説明が表示されます。
- もう一度 (番組説明) 押すと番組説明が消えます。



本機の機能を設定画面から選択して設定します。

設定画面



設定 押す

設定画面が
表示されます。

画面サイズ (p.21)

お使いのアナログカーテレビの画面に合わせて画面サイズを選べます。

自動スキャン (p.22)

現在視聴している放送が映らなくなったときに、自動で現在位置付近のワンセグ放送をチャンネルスキャンする機能の切換えを行います。

二重音声 (p.23)

主音声、副音声、主副音声を選べます。

字幕表示 (p.24)

ワンセグ放送に付加して送られてくる、字幕を表示できます。

出力チャンネル (p.25)

本機の出力チャンネルを設定します。

チャンネル設定 (p.26～31)

「地域設定」(p.26)、「チャンネルスキャン」(p.29)、「ホームチャンネル登録」(p.31)をするときを選択します。

画質調整 (p.32)

映像の「コントラスト」、「色合い」、「彩度」を設定します。

設定リセット (p.33)

すべての設定を工場出荷状態に戻します。

お使いのアナログカーテレビの画面に合わせて、画面サイズを選べます。



設定 押す

↑ ↓ で「画面サイズ」を選び

← → で「標準」または「ワイド」を選ぶ



戻る または 設定 押す, あるいは「戻る」を選択して 決定 押すと視聴画面に戻ります。

標準

標準 (画面の横・縦比4:3) 画面のアナログカーテレビのとき「標準」を選びます。



上下左右に黒帯のある映像



上下に黒帯のある映像

ワイド

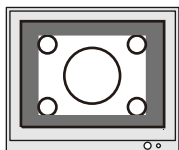
ワイド (横・縦比16:9) 画面のアナログカーテレビのとき「ワイド」を選びます。



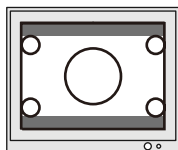
ズーム

標準 (画面の横・縦比4:3) の画面のアナログカーテレビのとき, ^{ズーム} を押すと、画面いっぱいに拡大して表示できます。

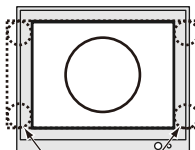
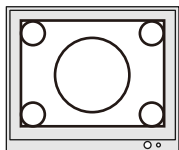
上下左右に黒帯のある映像



上下に黒帯のある映像



ズーム 押す ↑ ↓ ズーム 押す



表示されない部分

ご注意

画面サイズが「ワイド」のとき「ズーム」機能は使用できません。

拡大して表示しますが、左右部分が切れて一部表示されなくなります。

現在視聴している放送が映らなくなったときに、自動で現在位置付近のワンセグ放送をスキャンします。

設定画面で切替える



戻る または (設定) 押す、あるいは「戻る」を選択して (決定) 押すと視聴画面に戻ります。

(設定) 押す

▲ ▼ で「自動スキャン」を選び

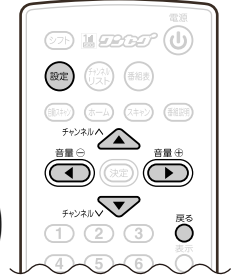
◀ ▶ で

「1分」「3分」「OFF」を選ぶ

(下記「自動スキャンの動き」をご覧ください。)

ご注意

ご使用のエリアが変わった場合、出力チャンネルの変更が必要になることがあります。



リモコンの自動スキャンボタンで切替える

(自動スキャン) 押す
押すたびに自動スキャン機能が OFF → 3分 ← 1分 と切り替わります。



自動スキャンの動き

自動スキャンの設定が「1分」または「3分」のとき、現在視聴しているチャンネルが映らなくなると、1分または3分後にチャンネルスキャンを自動的に開始します。

チャンネルスキャン開始



チャンネルスキャン終了



チャンネルスキャン終了後

◀ ▶ で「決定」「再スキャン」「戻る」を選び (決定) 押す



決定	チャンネルリストのいちばん数字の小さいチャンネルを選局
再スキャン	再度、チャンネルスキャンを開始
戻る	自動スキャン前のチャンネルを選局

- 約30秒間何も操作しないと、チャンネルリストのいちばん数字の小さいチャンネルを選局します。
- 何も受信できないときは、自動スキャンを行なう前のチャンネルを選局します。

各種設定 音声を切換える

二重音声

主音声，副音声，主副 音声を選べます。
(副音声は外国語などを放送しています)

ご注意

切換える音声がない場合，
音声は切換わりません。

設定画面で切換える



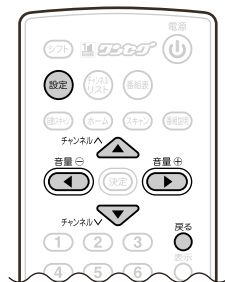
戻る
○ または 設定 押す，あるいは
「戻る」を選択して 決定 押すと
視聴画面に戻ります。

設定 押す

↑ ↓ で「二重音声」
を選び

← → で

「主」，「副」または
「主副」を選ぶ

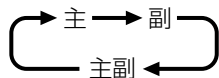


リモコンの音声切換ボタンで切換える

音声切換

○ 押す

押すたびに



と切換わります。



音声を切換える

各種設定 字幕を切替える

字幕表示

ワンセグ放送に付加して送られてくる、
字幕を表示できます。

ご注意

字幕データがない場合、
字幕は表示できません。

設定画面で切替える



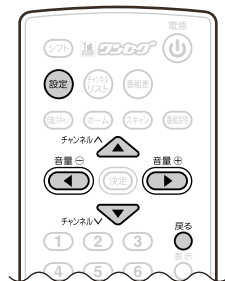
戻る または 設定 押す、あるいは
「戻る」を選択して 決定 押すと
視聴画面に戻ります。

設定 押す

↑ ↓ で「字幕表示」
を選び

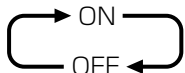
← → で

「ON」(表示)
または
「OFF」(非表示)
を選ぶ



リモコンの字幕ボタンで切替える

字幕
○ 押す

押すたびに  と切り替わります



字幕の表示

標準画面



ワイド画面



標準画面のとき、画面が上に移動
して、下に字幕を表示します。

本機で受信したワンセグ放送をお使いのアナログカーテレビで視聴するために、現在ご覧になっているアナログ放送（VHF）の空きチャンネル（p.34）に、本機の出力チャンネルを設定します。別の地域まで走行して、設定してある出力チャンネルでアナログ放送が行われているときにも変更します。

設定画面で設定する

① 出力チャンネル設定の表示



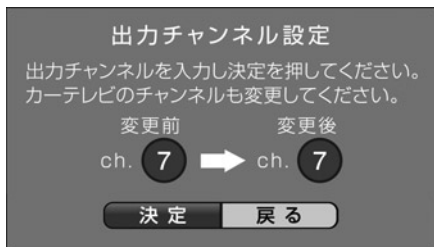
設定 押す

▲ ▼ で「出力チャンネル」を選び

決定 押す



② 出力チャンネルの設定



① ~ ⑫ で「変更後」の出力チャンネルを選び

◀ ▶ で「決定」を選び

決定 押す

- 選択したチャンネルで信号を出力します。
- 設定した出力チャンネルに合わせて、アナログカーテレビのチャンネルも変更してください。

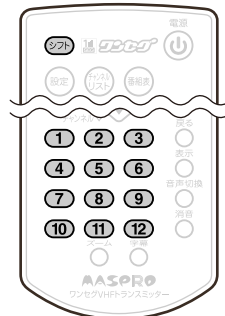
リモコンの数字ボタンで設定する

シフト 1回押し、離してから ① ~ ⑫ を押す

- 押した数字ボタンの番号が出力チャンネルになります。
- 設定した出力チャンネルに合わせて、アナログカーテレビのチャンネルも変更してください。

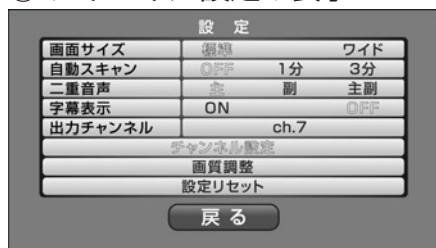
ご注意

シフトと ① ~ ⑫ を同時に押さないでください。



普段お車をお使いになる地域のチャンネル(ワンセグ放送)を登録します。
引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合、この操作を行なってください。

① チャンネル設定の表示

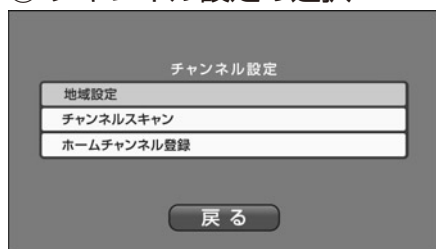


設定 押す

で「チャンネル設定」を選び

決定 押す

② チャンネル設定の選択

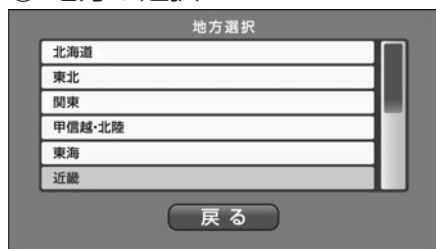


で「地域設定」を選び

決定 押す



③ 地方の選択



で普段お車をお使いの地方を選び

決定 押す

↓
p.27へ

④ 都道府県の選択

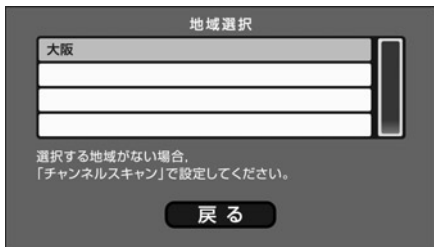


で普段お車
をお使いの
都道府県を
選び

決定 押す



⑤ 地域の選択



で普段お車
をお使いの
地域を選び

決定 押す

ご注意

選択する地域がない場合、「戻る」を選び、p.26「②地域設定の選択」で「チャンネルスキャン」を選択してください。

⑥ チャンネルリスト



「決定」または
「戻る」を選び

決定 押す

⑦ 地域設定登録の選択



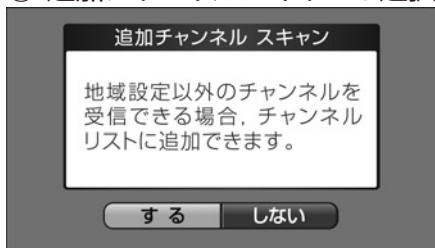
「する」または
「しない」を選び

決定 押す → p.28へ

「しない」 → 「⑥チャンネルリスト」へ

(チャンネルリスト画面から順に「戻る」を選び、p.26「②地域設定の選択」まで戻ります。)

⑦ 追加チャンネルスキャンの選択



- 地域設定以外のチャンネルを受信できる場合、チャンネルリストに追加できます。
- 追加チャンネルスキャンをするときは

ご注意

受信環境によっては、チャンネルを追加できないことがあります。

◀ ▶ で「する」を選び

決定 押す

⑧ チャンネルスキャンの開始



チャンネルスキャンには、しばらく時間がかかります。



⑨ チャンネルリスト

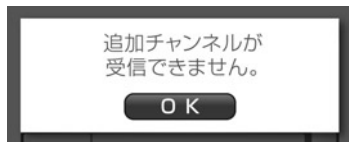


◀ ▶ で「決定」を選び

決定 押す
(チャンネルリストが登録されます)

↓
p.26 「②地域設定の選択」へ
追加チャンネルが受信できたときは、緑色で表示します。

追加チャンネルが受信できないとき

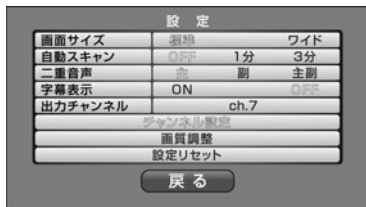


決定 押す
「⑨チャンネルリスト」に戻ります

現在位置で、受信できるワンセグ放送を受信して、本機に登録します。
受信エリアの異なる地域でワンセグ放送をご覧になるとき操作してください。

設定画面から登録する

① チャンネル設定の表示

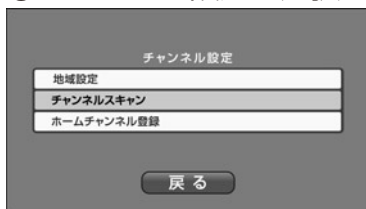


設定 押す

▲▼ で「チャンネル設定」を選び

決定 押す

② チャンネル設定の選択



▲▼ で「チャンネルスキャン」を選び

決定 押す

③ チャンネルスキャンの開始



チャンネルスキャンには、しばらく時間がかかります。

④ チャンネルリスト



◀ ▶ で「決定」を選び

決定 押す



「②チャンネルスキャンの選択」へ

ワンセグ放送チャンネルが受信できないとき



決定 押す

「②チャンネル設定の選択」に戻ります



リモコンのスキャンボタンで登録する

① チャンネルスキャンの開始



スキャン 押す

- チャンネルスキャンには、しばらく時間がかかります。

② チャンネルリスト



決定 押す
◀ ▶ で「決定」を選び

決定 押す

- チャンネルリストが登録され、リストの中でいちばん数字の小さいチャンネルを選局します。



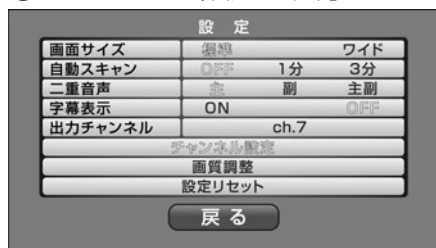
ワンセグ放送チャンネルが受信できないとき



決定 押す
視聴画面に戻ります

- 現在のチャンネルリストを「ホームチャンネルリスト」に登録できます。
- ホームチャンネルに登録しておくと、旅行先などでチャンネルリストが変更された後でも、簡単にチャンネルリストに戻すことができます。(p.19「ホームチャンネルを呼出す」参照)

① チャンネル設定の表示

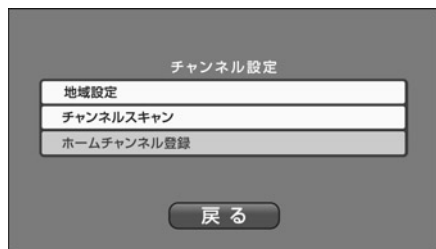


設定 押す

で「チャンネル設定」を選び

決定 押す

② ホームチャンネル登録の選択



で「ホームチャンネル登録」を選び

決定 押す

③ ホームチャンネル登録の確認



で「登録」を選び

決定 押す

視聴画面に戻ります。

④ ホームチャンネル登録画面

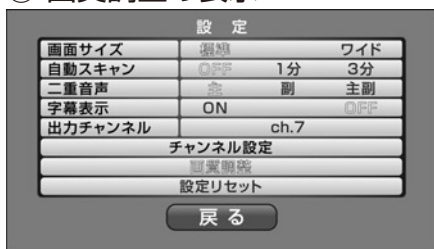


- チャンネルリストをホームチャンネルとして登録します。
- ホームチャンネル登録のメッセージが約2秒間表示され、視聴画面に戻ります。



映像のコントラスト、色合い、彩度を調整します。

① 画質調整の表示



設定 押す

で「画質調整」
を選び

決定 押す

② 画質の調整



で
「コントラスト」
「色合い」
「彩度」を選び

で画質を
調整し

決定 押す



3項目とも初期値は
「0」(マーカーが中央)で
右側がプラス、左側が
マイナスで、それぞれ
10段階(⊖5～⊕5)に
調整できます。

初期値に戻す場合

と で「初期値」を選び 決定 押す

- すべての設定を工場出荷状態に戻します。
- 正常に作動している場合、リセットしないでください。

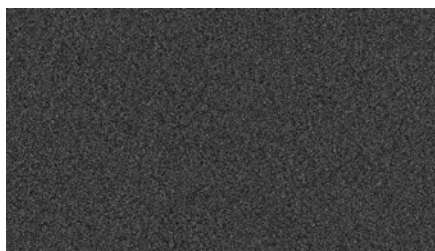
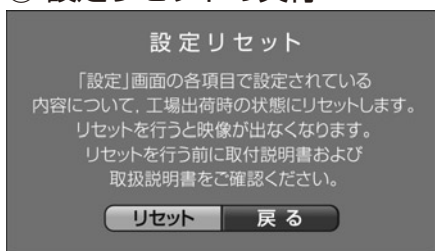
工場出荷時の設定

画面サイズ	標準
自動スキャン	OFF
二重音声	主
字幕表示	OFF
出力チャンネル	未設定
チャンネル設定	チャンネルリスト無し
画質調整	初期値 (0)

① 設定リセットの表示



② 設定リセットの実行



設定 押す

↑ ↓ で
「設定リセット」
を選び

決定 押す

← → で
「リセット」
を選び

決定 押す

ご注意

リセットを行うと映像が出なくなります。
「取付説明書」の「10. アンテナを取付ける」の「チャンネルを合わせる」①～③と、本取扱説明書 p.25「出力チャンネルの設定」にしたがって、出力チャンネルの設定を行ってください。



映像が表示され
なくなります。

アナログ放送の空きチャンネル一覧 (参考)

本機は、ワンセグ放送を受信し、アナログ放送のVHF (ch.1~12) に変換して、お使いのアナログカーテレビに送信します。

- 下表の「○」は、アナログ放送が送信されていない、各都道府県の代表的な空きチャンネルです。(「◎」は推奨チャンネルです)
- 同じ都道府県内でも空きチャンネルが異なりますから、お使いのアナログカーテレビでご確認ください。
- 別の地域まで走行した場合、設定してある出力チャンネルでアナログ放送が行われていることがあります。その場合、映像や音声が乱れることがありますから、本機の出力チャンネルを変更してください。(p.25参照)

地域	推奨チャンネル	アナログ放送のチャンネル (VHF ch.1~12)											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	10						○				◎		
青森	7		○		○		○	◎	○	○	○	○	○
岩手	10	○	○	○		○				○	◎	○	○
宮城	7		○		○		○	◎	○	○	○	○	
秋田	7	○		○	○	○	○	◎	○		○		○
山形	6	○	○	○		○	◎			○		○	○
福島	7	○		○	○	○	○	◎	○		○		○
茨城	11		○			○				○		◎	
栃木	11		○			○				○		◎	
群馬	11		○			○				○		◎	
埼玉	11		○			○				○		◎	
千葉	11		○			○				○		◎	
東京	11		○			○				○		◎	
神奈川	11		○			○				○		◎	
新潟	10	○	○		○		○				◎		
富山	7		○		○	○	○	◎	○	○		○	○
石川	10	○	○	○		○				○	◎	○	○
福井	7	○	○		○	○	○	◎	○		○		○
山梨	7				○		○	◎	○		○		○
長野	8					○		○	◎				○

アナログ放送の空きチャンネル一覧 (参考) つづき

地域	推奨チャンネル	アナログ放送のチャンネル (VHF ch.1~12)											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
静岡	7				○	○	○	◎	○		○		○
岐阜	7		○		○		○	◎	○		○		○
愛知	7		○		○		○	◎	○		○		○
三重	7		○		○		○	◎	○		○		○
滋賀	11	○		○		○				○		◎	
京都	11	○		○		○				○		◎	
大阪	11	○		○		○				○		◎	
兵庫	11	○		○		○				○		◎	
奈良	11	○		○		○				○		◎	
和歌山	11	○		○		○				○		◎	
鳥取	7		○			○	○	◎	○	○	○	○	○
島根	8	○	○	○	○	○		○	◎	○		○	
岡山	7	○	○		○		○	◎	○		○		○
広島	10	○	○			○	○			○	◎	○	
山口	6		○	○	○		◎						
徳島	7		○		○	○	○	◎	○	○	○	○	
香川	7	○	○				○	◎	○		○		○
愛媛	8	○		○	○	○		○	◎	○		○	○
高知	10	○	○	○		○				○	◎	○	○
福岡	11		○			○		○	○		○	◎	○
佐賀	7	○		○	○	○	○	◎	○		○		○
長崎	10		○		○		○			○	◎	○	○
熊本	7	○		○	○	○	○	◎	○		○		○
大分	7		○		○		○	◎	○		○		
宮崎	5	○	○	○	○	◎	○			○		○	
鹿児島	7		○		○		○	◎	○	○		○	○
沖縄	4	○		○	◎					○		○	

アナログ放送の空きチャンネル一覧 (参考)

2010年6月現在

ワンセグ放送チャンネル一覧

- ワンセグ放送のチャンネルを、地域別に表示してあります。他の地域の放送を受信した場合、チャンネルと放送局名が異なることがあります。
- 受信したワンセグ放送はリモコンの ①～⑫ のボタンで直接選局できます。

地域	チャンネル	放送局名
札幌	1	HBC札幌
	2	NHK教育・札幌
	3	NHK総合・札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	7	TVH札幌
	8	UHB札幌
	函館	1
2		NHK教育・函館
3		NHK総合・函館
5		STV函館
6		HTB函館
7		TVH函館
8		UHB函館
旭川		1
	2	NHK教育・旭川
	3	NHK総合・旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	7	TVH旭川
	8	UHB旭川
	帯広	1
2		NHK教育・帯広
3		NHK総合・帯広
5		STV帯広
6		HTB帯広
7		TVH帯広
8		UHB帯広
釧路		1
	2	NHK教育・釧路
	3	NHK総合・釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	7	TVH釧路
	8	UHB釧路
	北見	1
2		NHK教育・北見
3		NHK総合・北見
5		STV北見
6		HTB北見
7		TVH北見
8		UHB北見

地域	チャンネル	放送局名	
室蘭	1	HBC室蘭	
	2	NHK教育・室蘭	
	3	NHK総合・室蘭	
	5	STV室蘭	
	6	HTB室蘭	
	7	TVH室蘭	
	8	UHB室蘭	
	青森	1	RAB青森放送
2		NHK教育・青森	
3		NHK総合・青森	
5		青森朝日放送	
6		ATV青森テレビ	
八戸		1	RAB青森放送
	2	NHK教育・青森	
	3	NHK総合・青森	
	5	青森朝日放送	
	6	ATV青森テレビ	
	盛岡	1	NHK総合・盛岡
2		NHK教育・盛岡	
4		テレビ岩手	
5		岩手朝日テレビ	
6		IBCテレビ	
8		めんこいテレビ	
秋田		1	NHK総合・秋田
		2	NHK教育・秋田
	4	ABS秋田放送	
	5	AAB秋田朝日放送	
	8	AKT秋田テレビ	
	大館	1	NHK総合・秋田
		2	NHK教育・秋田
		4	ABS秋田放送
5		AAB秋田朝日放送	
8		AKT秋田テレビ	
仙台		1	TBCテレビ
		2	NHK教育・仙台
		3	NHK総合・仙台
	4	ミヤギテレビ	
	5	KHB東日本放送	
	8	仙台放送	
	山形	1	NHK総合・山形
		2	NHK教育・山形
4		YBC山形放送	
5		YTS山形テレビ	
6		テレビユー山形	
8		さくらんぼテレビ	

ワンセグ放送チャンネル一覧つづき

地域	チャンネル	放送局名
鶴岡	1	NHK総合・山形
	2	NHK教育・山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
	8	福島テレビ
会津若松	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
	8	福島テレビ
いわき	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
	8	福島テレビ
東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	9	東京MXテレビ
	横浜	1
2		NHK教育・東京
3		TVKテレビ
4		日本テレビ
5		テレビ朝日
6		TBS
7		テレビ東京
8		フジテレビジョン
さいたま	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	テレビ埼玉
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン

地域	チャンネル	放送局名
千葉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	ちばテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
水戸	1	NHK総合・水戸
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	前橋	1
2		NHK教育・東京
3		群馬テレビ
4		日本テレビ
5		テレビ朝日
6		TBS
7		テレビ東京
8		フジテレビジョン
宇都宮	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	とちぎテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
新潟	1	NHK総合・新潟
	2	NHK教育・新潟
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
	6	BSN
	8	NST
富山	1	KNB北日本放送
	2	NHK教育・富山
	3	NHK総合・富山
	6	チューリップテレビ
8	BBT富山テレビ	
金沢	1	NHK総合・金沢
	2	NHK教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ

2010年6月現在

ワンセグ放送チャンネル一覧つづき

地域	チャンネル	放送局名
福井	1	NHK総合・福井
	2	NHK教育・福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
長野	1	NHK総合・長野
	2	NHK教育・長野
	4	テレビ信州
	5	ABN長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送
甲府	1	NHK総合・甲府
	2	NHK教育・甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
名古屋	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・名古屋
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	10	テレビ愛知
静岡	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
	6	SBS
	8	テレビ静岡
浜松	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
	6	SBS
	8	テレビ静岡
岐阜	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・岐阜
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
津	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・津
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	7	三重テレビ

地域	チャンネル	放送局名
大阪	1	NHK総合・大阪
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	7	テレビ大阪
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
兵庫	1	NHK総合・神戸
	2	NHK教育・大阪
	3	サンテレビ
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
10	よみうりテレビ	
京都	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	5	KBS京都
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
大津	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪
	3	BBCびわ湖放送
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
和歌山	1	NHK総合・和歌山
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	5	テレビ和歌山
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
奈良	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	9	奈良テレビ
	10	よみうりテレビ
鳥取	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・鳥取
	3	NHK総合・鳥取
	6	BSSテレビ
	8	山陰中央テレビ

2010年6月現在

ワンセグ放送チャンネル一覧つづき

地域	チャンネル	放送局名
松江	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・松江
	3	NHK総合・松江
	6	BSSテレビ
岡山	8	山陰中央テレビ
	1	NHK総合・岡山
	2	NHK教育・岡山
	4	西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
広島	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
	1	NHK総合・広島
	2	NHK教育・広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
山口	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・山口
	3	TYSテレビ山口
徳島	4	KRY山口放送
	5	YAB山口朝日
	1	四国放送
高松	2	NHK教育・徳島
	3	NHK総合・徳島
	1	NHK総合・高松
	2	NHK教育・高松
	4	西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
8	OHKテレビ	
松山	1	NHK総合・松山
	2	NHK教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
高知	8	テレビ愛媛
	1	NHK総合・高知
	2	NHK教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
福岡	8	さんさんテレビ
	1	KBC九州朝日放送
	2	NHK教育・福岡
	3	NHK総合・福岡
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本

地域	チャンネル	放送局名
北九州	1	KBC九州朝日放送
	2	NHK教育・北九州
	3	NHK総合・北九州
	4	RHK毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本
	佐賀	1
2		NHK教育・佐賀
3		STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・長崎
	3	NBC長崎放送
	4	NIB長崎国際テレビ
	5	NCC長崎文化放送
熊本	8	KTNテレビ長崎
	1	NHK総合・熊本
	2	NHK教育・熊本
	3	RKK熊本放送
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
	8	TKUテレビ熊本
	大分	1
2		NHK教育・大分
3		OBS大分放送
4		TOSテレビ大分
5		OAB大分朝日放送
宮崎	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・宮崎
	3	UMKテレビ宮崎
延岡	6	MRT宮崎放送
	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・宮崎
鹿児島	3	UMKテレビ宮崎
	6	MRT宮崎放送
	1	MBC南日本放送
	2	NHK教育・鹿児島
	3	NHK総合・鹿児島
那覇	4	KYT鹿児島読売テレビ
	5	KKK鹿児島放送
	8	KTS鹿児島テレビ
	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ(OTV)

2010年6月現在

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置	ページ
電源が入らない。	電源コードが接続されていない。	電源コードを接続してください。	取付説明書 8
	夏などに車内温度が上昇して、本機が熱くなり、保護機能が働いている。	車内温度を下げてから、電源を入れてください。	—
電源を入れてもすぐに映像が表示されない。 (しばらくノイズ画面が表示される。)	本機のソフトウェア起動に時間がかかる。	ACCを「ON」にしてから約5秒お待ちください。	—
電源を入れてもすぐに音声が出ない。 (しばらく「ザー」と音がする。)	本機のソフトウェア起動に時間がかかる。 カーテレビの種類によっては、ミュート(消音)機能がない。	ACCを「OFF」にする前にカーテレビの電源を切る、または、カーテレビの音声を小さくしてください。	—
映像・音声が出ない。	本機またはテレビの電源が入っていない。	本機またはテレビの電源を入れてください。	—
	アンテナが正しく取付られていない。	アンテナの取付位置を調整してください。	取付説明書 10
	車が走行している。	停車して、サイドブレーキをかけてください。 オートマチック車の場合、シフトレバーをパーキングにしてください。	—
	チャンネル設定がされていない。	地域設定またはチャンネルスキャンを行なってください。	p.26, 29
	アンテナが本体に接続されていない。	コネクターの接続を確認してください。	取付説明書 6
	本機の出カチャンネルとカーテレビの受信チャンネルが合っていない。	カーテレビのチャンネルを本機の出カチャンネルに合わせる。 本機の出カチャンネルをカーテレビの受信チャンネルに合わせる。	— p.25
音声が出ない。	テレビの音声が極端に小さい、または、消音になっている。	本機およびカーテレビの音量を上げる、または、消音を解除してください。	p.16
	アンテナが正しく取付けられていない。	アンテナの取付位置を調整してください。	取付説明書 10
リモコンで操作できない。	電池が消耗している。	新しい同じ種類の電池に交換してください。	p.8
	電池の極性(⊕, ⊖)が逆になっている。	リモコンの極性表示に合わせて電池を入れてください。	p.8
	リモコン受光部が正しく接続されていない。	リモコン受光部の接続を確認してください。	取付説明書 6
	リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に光が当たらない場所でリモコンを操作してください。	取付説明書 9
	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していない。	リモコンを受光部に向けて操作してください。	p.8
	リモコン受光部の前に障害物がある。	障害物を取除いてください。	—

故障とお考えになる前につぎ

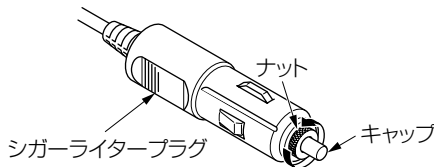
症状	原因	処置	ページ
チャンネル設定ができない。	電波状態が悪い。	ワンセグ放送を受信できる場所に移動してください。	—
映像が乱れる。	ワンセグ放送を受信できない場所にいる。	ワンセグ放送を受信できる場所に移動してください。	—
	テレビの送信塔近くで、テレビ信号の妨害を受けている。	送信塔から離れてください。	—
	受信している地域が変わったため、本機の出力チャンネルが、放送のあるチャンネルと一致してしまった。	出力チャンネルを変更してください。	p.25 p.34 p.35
	車外からの妨害電波の影響を受けている。	妨害源から離れてください。	—
	車載機器および他の電子機器の影響を受けている。	—	—
	アンテナのコードを他の車載機器のコードと束ねている。	アンテナのコードを他の車載機器のコードから離して配線してください。	—
推奨チャンネルできれいに映らない。	車外からの妨害電波の影響を受けている。	出力チャンネルを推奨チャンネル以外の空きチャンネルに変更してください。	p.25 p.34 p.35
AMラジオにノイズが入る	エアコンのファンモーターのノイズが、本機を通してAMラジオに入っている。	本機の設定位置やアンテナコードの引回しを変えてください。	—
	本機のアンテナの近くにAMラジオのアンテナがある。	本機のアンテナの貼付位置を変えてください。	—
チャンネルスキャンをしても表示される放送局が少ない。	ワンセグ放送を受信しにくい場所にいる。	ワンセグ放送を受信できる場所でチャンネルスキャンを行なってください。	p.29
音声がかたかわらない。	副音声の信号がない。	副音声の信号のあるときだけ、切換えられます。	p.23
映像の縦横比が不自然になる。	画面サイズの設定が、使用しているカーテレビの画面に合っていない。	画面サイズを切換えてください。	p.21
字幕が表示されない。	字幕表示の設定が「OFF」になっている。	字幕表示の設定を「ON」にしてください。	p.24
	番組が字幕に対応していない。	字幕のサービスを行っていない番組があります。	—
画面表示、番組情報、字幕が正常に表示されない。	本機に登録されていない特殊な文字・記号を受信した場合、正常に表示されません。	—	—
チャンネルスキャン中や簡易番組表を表示しているときに、視聴画面に切替わる。	受信状態などが不安定になったとき、本機を自動的に再起動した。	ワンセグ放送を受信できる場所に移動してください。	—
本体に触れると熱い。	放熱のため、熱くなることがあります。	熱のこもらない場所に設置してください。	—
すべてのボタンの操作ができない。	受信異常などによりソフトウェアの処理に時間がかかっている。	ACCを「OFF」にして本機の電源を入れ直してください。	—

ヒューズの取外し、規格表

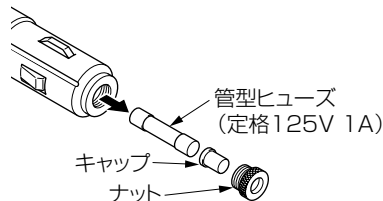
ヒューズの取外し

MOTV2

- ① シガーライタープラグのナットを回してキャップを取外す

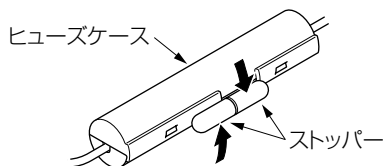


- ② ヒューズを取外す

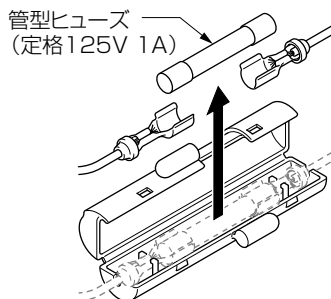


MOTV2D

- ① ヒューズケースを開ける



- ② ヒューズを取外す



規格表

本体

MASPRO

項目 Items	規格
入力周波数 Input Frequency	470~770MHz (UHF ch.13~62)
出力周波数 Output Frequency	90~222MHz (VHF ch.1~12) (NTSC方式)
出力電界強度 Output Field Intensity	500 μ V/m以下(3mの距離において)
使用温度範囲 Temperature Range	本体: \ominus 10 \sim \oplus 50 $^{\circ}$ C アンテナ: \ominus 30 \sim \oplus 85 $^{\circ}$ C
電源 Power Requirements	DC12V 0.2A (パーキングブレーキ連動機能付)
消費電力 Power Consumption	約2.4W
外観寸法 Dimensions	本体: 26(H) \times 102(W) \times 72(D)mm アンテナ: 8(H) \times 200(W) \times 25(D)mm
質量(重量) Weight	本体: 約90g アンテナ: 約90g (コード含む)

リモコン

MASPRO

項目 Items	規格
操作距離 Control Distance	約7m以内(正面距離)
操作範囲 Control Range	左右方向 約30 $^{\circ}$ 以内 上下 中心から約20 $^{\circ}$ 以内
使用温度範囲 Temperature Range	\ominus 10 \sim \oplus 50 $^{\circ}$ C
使用電池 Power Requirements	単4形乾電池 2本
外観寸法 Dimensions	20(H) \times 52(W) \times 110(D)mm
質量(重量) Weight	約45g(乾電池含まず)

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
保証します。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本機にはGNU General Public License(以下「GPL」とします)およびGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様はGPL/LGPLの条件にしたがって、これらのソフトウェアのソースコードの入手、変更、再配布の権利があることをお知らせいたします。

本機で使用しているGPL/LGPL適用ソースコードをご希望されるお客様は、以下のWebサイトにアクセスし、入手してください。

<http://www.maspro.co.jp/support/transmitter/movt2/scode.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program' source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせつき

- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable. If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

- You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
- You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
- Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
- If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you can not distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

- If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms. To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせつき

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. Toucan use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company can not effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a “work based on the library” and a “work that uses the library”. The former contains code derived from the library, where as the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorised party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called “this License”). Each licensee is addressed as “you”.

A “library” means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The “Library”, below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straight forwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.)

“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせつき

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange. If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications. You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせつき

You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you can not use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances. It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice. This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU

Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

保証とアフターサービスについて

保証書（最終ページ）について

お買上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、よくお読みのあと、大切に保存してください。

保証について

- 保証期間は、お買上げいただいた日から1年です。
- 保証期間内でも有料修理になることがありますから、「保証書」(p.52)をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料修理いたします。

アフターサービスについて

本機に異常があると思われるときは、まず p.40「故障とお考えになる前に」を参考にして、故障かどうかお調べください。また、「取付説明書」および「取扱説明書」の各注意事項もご確認ください。

それでも異常があるときは、販売店にご相談ください。

ご相談のときは、本機の型式「**MOVT2**」または「**MOVT2D**」と故障の状況をできるだけ詳しくお知らせください。

当社営業部・営業所・技術相談

営業部	首都圏電材(営)	☎(03) 5469-5521	〒150-0002	東京都渋谷区渋谷3-27-1
	首都圏(シ)	☎(03) 3499-5632	〒150-0002	東京都渋谷区渋谷3-27-1
	西日本(シ)	☎(082) 230-2359	〒733-0004	広島市西区打越町5-24
	中日本(シ)	☎(06) 6632-1144	〒556-0006	大阪市浪速区日本橋東2-5-2
	北日本(シ)	☎(022) 786-5062	〒983-0014	仙台市宮城野区高砂1-6-4
九州沖縄	福岡(支)	☎(092) 551-1711	〒815-0031	福岡市南区清水2-2-18
	沖縄	☎(098) 854-2768	〒902-0073	那覇市上間425
	鹿児島	☎(099) 812-1200	〒890-0072	鹿児島市新栄町6-18
	宮崎	☎(0985) 25-3877	〒880-0023	宮崎市和知川原3-146
	熊本	☎(096) 381-7626	〒862-0913	熊本市尾ノ上2-9-1
	長崎	☎(095) 864-6001	〒852-8012	長崎市淵町2-30
	北九州	☎(093) 941-4026	〒802-0074	北九州市小倉北区白銀2-10-2
	下関	☎(083) 255-1130	〒751-0853	下関市川中豊町2-6-39
中国四国	広島(支)	☎(082) 230-2351	〒733-0004	広島市西区打越町5-24
	松江	☎(0852) 21-5341	〒690-0048	松江市西塚島1-5-5
	岡山	☎(086) 252-5800	〒700-0016	岡山市北区津島京町2-6-7
	松山	☎(089) 973-5656	〒790-0044	松山市余戸東1-3-22
	高知	☎(088) 882-0991	〒780-0816	高知市南宝永町15-12
	高松	☎(087) 865-3666	〒761-8056	高松市上天神町東長首725
近畿	大阪(支)	☎(06) 6635-2222	〒556-0006	大阪市浪速区日本橋東2-5-2
	大塚	☎(079) 234-6669	〒672-8071	姫路市飾磨区構4-64
	神戸	☎(078) 231-6111	〒651-0097	神戸市中央区布引町2-1-7ソラービル1F
	京都	☎(075) 646-3800	〒612-8413	京都市伏見区竹田三ツ杭町35
東海北陸	東海(工)	☎(052) 804-6262	〒470-0194	愛知県日進市浅田町上納80
	名古屋(支)	☎(052) 802-2233	〒470-0194	愛知県日進市浅田町上納80
	津	☎(059) 234-0261	〒514-0816	津市高茶屋小森上野町1068-1
	岐阜	☎(058) 275-0805	〒500-8267	岐阜市西部寺屋敷1-32
	豊橋	☎(0532) 33-1500	〒441-8083	豊橋市東脇4-1-3-8
	静岡	☎(054) 283-2220	〒422-8055	静岡市駿河区寿町4-8
	松本	☎(0263) 57-4625	〒399-0033	松本市笹賀6531-16
	福井	☎(0776) 23-8153	〒918-8231	福井市間屋町3-1002
金沢	☎(076) 249-5301	〒921-8061	金沢市森戸2-30	
関東	関東(工)	☎(03) 3499-5631	〒150-0002	東京都渋谷区渋谷3-27-1
	東京(支)	☎(03) 3409-5505	〒150-0002	東京都渋谷区渋谷3-27-1
	新潟	☎(025) 287-3155	〒950-0922	新潟市中央区山二ツ4-2-25
	横浜	☎(045) 784-1422	〒236-0003	横浜市磯区幸浦2-15-7
	八王子	☎(042) 637-1699	〒192-0914	八王子市片倉町445-13
	千葉	☎(043) 232-5335	〒264-0023	千葉市若葉区貝塚町1118-1
	さいたま	☎(048) 663-8000	〒331-0811	さいたま市北区吉野町1-411-3
	前橋	☎(027) 263-3767	〒379-2166	前橋市野中町95-2
	水戸	☎(029) 248-3870	〒310-0845	水戸市吉沢町36-2
	宇都宮	☎(028) 636-1210	〒321-0954	宇都宮市元今泉3-7-4
東北北海道	仙台(支)	☎(022) 786-5060	〒983-0014	仙台市宮城野区高砂1-6-4
	山形	☎(024) 952-0095	〒963-8041	郡山市富田町墨染8-1
	盛岡	☎(019) 641-1500	〒020-0122	盛岡市みたけ6-15-16
	秋田	☎(018) 862-7523	〒010-0802	秋田市外旭川水口160
	青森	☎(017) 742-4227	〒030-0965	青森市松森1-2-8
	札幌	☎(011) 782-0711	〒065-0021	札幌市東区北21条東16-1-6
	釧路	☎(0154) 23-8466	〒085-0012	釧路市川上町9-5
	旭川	☎(0166) 25-3111	〒070-0039	旭川市9条通13-右6

(営)：営業グループ (シ)：システム営業グループ (工)：工事グループ

技術相談

TEL 名古屋(052) 805-3366

受付時間 9～12時, 13～17時

(土・日・祝日, 当社休業日を除く)

技術相談以外は, お近くの支店・営業所にお問合わせください。

アナログカーテレビ用ワンセグセット **保証書**

MOVT2 MOVT2D

持込修理

お客様ご住所	
TEL.	— —
★お客様お名前 見本 様	
★保証期間	
お買上げ日	年 月 日から1年間
★ご購入店・住所	
TEL.	— —

★印の欄にご記入のないときは、無効になります。必ず記入してあることをご確認ください。もし、記入がないときは、ただちにお買上げの販売店にお申出ください。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

- 取付説明書、注意書および取扱説明書などの注意にしがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
- 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
 - ・ 本書のご提示がない場合。
 - ・ 本書にお客様お名前、お買上げ日、ご購入店名の記入のない場合、あるいは、字句を書換えられた場合。
 - ・ 火災、交通事故、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、および、その他の天災地変による故障ならびに損傷。
 - ・ ご使用上の誤り、および、不当な修理や改造による故障ならびに損傷。
 - ・ お買上げ後の落下および、輸送上の故障ならびに損傷。
 - ・ 接続する機器の故障により誘発する故障および損傷。
 - ・ 指定車両以外へ搭載して使用されたときの故障ならびに損傷。
 - ・ 設置工事、配線の不備によって生じた故障および損傷。
- 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。なお、ご不明な点がありましたら、お買上げの販売店にお問合わせください。

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80

地デジをすべての人に届けたい
＝マスプロ電気＝

本社
〒470-0194 (本社専用番号)
愛知県日進市浅田町上納80
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

だから **eco** 環境負荷物質を抑制
特定有害物質使用規制 (RoHS指令) 対応